

①学習課題（中学校1年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「ダイコンは大きな根？」(P44～P47)を読んで、説明の仕方の工夫などについて、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。

<取り組み方>

- ① 「ダイコンは大きな根？」を音読しよう。
- ② 形式段落に1から順に番号をふろう。
 - ・一字下げて書き始められている箇所に注目しよう。
- ③ 筆者が「問い」を投げかけている部分と、それに対する「答え」を示している部分を書き出してみよう。また、「問い」と「答え」の部分があることの効果について、自分の考えを簡単に書いてみよう。
 - ・「問い」は「なぜ～」や「～（でしょう）か」などという形をとることが多いです。
 - ・「問い」と「答え」があることで、分かりやすかったですか、分かりにくかったですか。
- ④ 筆者の一番言いたかったことが書かれている段落を一つ選び、その内容を一文でまとめて書いてみよう。また、その内容に対する自分の意見を簡単に書いてみよう。
- ⑤ 「ダイコンは大きな根？」という題名のつけ方について、どのような効果があると思うか、自分の考えを簡単に書いてみよう。
 - ・「ダイコン」という題名と比べて、印象はどのようにちがうでしょうか。
- ⑥ 「ダイコンは大きな根？」を読んで、面白いと思ったこと、分かったことや③～⑤について、家の人に伝えてみよう。

※①～⑤に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※⑥について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

【社会】

<内容>

【4回連続で取り組む課題となります。各回で取り組み方が異なりますので、示された方法に沿って取り組みましょう。】

なぜ、世界各地では人々の生活に様々な特色が見られるのでしょうか。また、なぜそれは変容するのでしょうか。取組シートやノートにまとめてみよう。

<取り組み方>

- (1)教科書 P26～27 を見ながら、「熱帯に暮らす人々の様子」についてまとめましょう。
- (2)教科書 P28～29 を見ながら、「乾燥帯に暮らす人々の様子」についてまとめましょう。
- (3)「熱帯に暮らす人々の様子」と「乾燥帯に暮らす人々の様子」を比べたとき、どのような違いがあるだろうか。違いが分かるように、文章でまとめよう。
- (4)「熱帯に暮らす人々の様子」と「乾燥帯に暮らす人々の様子」を比べたとき、共通点（同じようなところ、似ているところ）はあるだろうか。もしあれば、取組シートやノートに記入しておこう。

<学習のヒント>

- (1)(2)衣食住などに注目するとまとめやすいですね。

【数学】

＜内容＞

立ち幅跳びの記録の平均を求めよう。

～正の数、負の数を利用して効率よく平均を求められるかな？～

＜取り組み方＞

- ① 教科書 P50 の Q の 4 人の立ち幅跳びの記録の平均を求めよう。
- ② 教科書 P50 の 1 の拓海さんの式の意味を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）また、この考え方で平均を求めてみよう。
- ③ 教科書 P51 の 2 の大輝さんの式を完成させ、立ち幅跳びの平均を求めよう。
- ④ 基準を何 cm と考えると、平均が求めやすいでしょうか。自分で基準を決めて、平均を求めてみましょう。また、なぜその基準にしたのか理由や工夫した点を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ⑤ 教科書 P51 の 4 に取り組んでみよう。

＜学習のヒント＞

- ① $(\text{平均}) = (\text{資料の値の合計}) \div (\text{資料の個数})$ で求めることができます。表に 4 人のそれぞれの記録が書かれているので、全員の記録の合計を人数でわると平均が求められますね。
- ② 拓海さんは 150cm を基準に平均を求めようと考えました。教科書 P50 の式と棒グラフを比較しながら、+31、+58、+19、+44 はそれぞれ何を表しているか考えてみよう。次に、 $(31+58+19+44) \div 4$ が表す意味について考えてみよう。
- ③ 大輝さんは 194cm を基準に平均を求めました。②で考えたことを参考にして、 にあてはまる式を考えてみよう。
- ④ ①、②、③で求めた平均は全て同じになりますね。このことから、どんな値を基準にしても平均は同じになることがわかりました。では、どこを基準にすると自分なりに計算しやすくなるかを自由に考え、基準を設定してみよう。
- ⑤ 12 人の記録を見比べて、基準をどこにすれば計算しやすくなるかを考えてみよう。例えば、基準との差の合計をできるだけ 0 に近づけるためには、どんな数を基準にするとよいでしょうか。

【理科】

<内容>

◆^{みつど}密度とはどのような単位か考えよう。

<取り組み方>

- ① 教科書 P130 を参考に、密度の意味（定義）^{ていぎ} や公式などをまとめてみましょう。
- ② 次の問題に挑戦してみましょう。

【問題 1】

金属 A の質量は 55.09g、体積は 7.0 cm³、金属 B の質量は 18.9g、体積は 7.0 cm³だったとき、それぞれの密度を求めましょう。

【問題 2】

金属 A と金属 B はそれぞれ何という物質か、教科書 P130 の表 1 をもとに考えてみましょう。

【問題 3】

純粋な銅が 50 cm³あった場合、何 g になるか、教科書 P130 の表 1 をもとに求めましょう。

<学習のヒント>

- ・密度についてまとめるときに、質量[g]や体積[cm³]、単位にも注目してみましょう。単位については、教科書 P254 も参考にしてみましょう。
- ・小数の割り算を活用します。教科書 P252 も参考にしてみましょう。

【英語】

＜内容＞ 次の3つに取り組みましょう。

- ・教科書 P15 の「やってみよう」
- ・P16～17 「②アルファベットが表す音をきいてみよう」
- ・P18～19 「③アルファベットを書こう」

＜取り組み方＞ 2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。

★動画を見ながら取り組む課題です。

(1) 動画を見て、ALT の先生と一緒に、発音をしてみましょう。

3つの文字の音を合わせると、どんな単語になるのでしょうか。

※右のQRコードが読み取れない場合は下記URLを入力してください。

<https://youtu.be/LMzH-1918N0>

(1)の動画



(2) 右のQRコードを読み取り、教科書会社のホームページにある授業映像を見ながら取り組みましょう。

※右下のQRコードが読み取れない場合は下記URLを入力してください。

http://www.kairyudo.co.jp/contents/05_kyoiku/support/chu/eigo/jidoseito/202004.htm

- ① 「授業動画⑥Program1-2（教科書） p.16-17」を見ながら、アルファベットが表す音を聞いてみましょう。
- ② 「授業動画⑦Program1-3（教科書） p.18-19」でアルファベットの書き方を確認しながら、「取組シート（外国語4線中学校）」、または、家にある「英語のノート」に「大文字」と「小文字」を書いてみましょう。



★動画を見ないで取り組むことができる課題です。

(1) 下の単語は、どのように発音するか、① 1音ずつの音を確認し、② 2つの音を組み合わせ、③ 3つの音を組み合わせ、発音してみましょう。

・ cat (ネコ) → ① c + a + t → ② ca + t → ③ cat

・ bag (かばん) → ① b + a + g → ② ba + g → ③ bag

・ sun (太陽) → ① s + u + n → ② su + n → ③ sun

・ jam (ジャム) → ① j + a + m → ② ja + m → ③ jam

・ fox (キツネ) → ① f + o + x → ② fo + x → ③ fox

(2) 教科書 P16, 17 を見てください。小学校で学習した単語も多くありますので、それぞれの単語がどのように発音するか考えながら、声に出して言ってみましょう。

(3) 教科書 P18, 19 を見ながら、「取組シート（外国語4線中学校）」または家にある「英語のノート」に、アルファベットの大文字と小文字を何度も練習してみましょう。

【 保健体育 】

動画の解説もあります。



＜内容＞「体づくり運動」でねらいの異なる4つの運動に取り組んだことを基にして運動の計画を作成し、実践してみよう。

＜取り組み方＞

動画 URL https://youtu.be/_RtUuFOTQW4

動画とイラストを参考に関節や筋肉の動きにあった運動を選んでやってみよう。

②【巧みな動き】＜25日～29日＞

今週はココ

ゆっくりした動きから素早い動き、小さいから大きい、弱いから強い、易しい動きから難しい動きへと発展させよう。

様々な動作

様々な用具

様々な空間

動きに対応してタイミングよく動く、バランスをとる、リズムカルに動く、力を調節して素早く動く能力を高めよう。

☞巧みな動き ※やってみた運動を書いてください

☞動きを難しくするための工夫を書いてみよう。
例：ボールを上に向けて半回転してキャッチを一回転にする。

※今週は巧みな動きについて行いました。
来週以降③⇒④⇒⑤と進んでいきます。

＜学習のヒント＞

- 巧みな動きができるようになったら、少し難しい動きに挑戦してみよう。
- 室内で行う場合も安全に留意して行いましょう。

①【体の柔らかさ】＜18～22日＞

繰り返すことのできる最大の回数などを手がかりに、無理のない運動の強度と反復回数を選んで行おう。

重い物

二人組

自己の体重や抵抗を負荷として、それらを動かしたり移動させたりして、力強い動きを高めよう。

自体重

今後の見通しです。
今週はやらなくていいです。

③【力強い動き】

どの部位を解緊しているのかを意識しながら、可動範囲を徐々に広げるような、負荷の少ない動的な運動から始めよう。

リズムカルに曲げ伸ばし

ゆっくり10秒キープ

体の各部位を前もって緊張したり、意識的に解緊したりして、可動範囲を広げよう。

④【動きを持続する能力】

心拍数や疲労感などを手がかりにして、無理のない運動の強度と時間を選んで行うようにしよう。

1つの種目で

複数の種目で

1つ又は複数の運動を一定の時間連続して行ったり、回数を反復したりして、動きを持続する能力を高めよう。

⑤自分なりに効率よく行う運動やバランスよく高める運動の組み合わせ方を見付けよう。

■①～④の中から2つを選ぼう

--	--

■運動後に実感した効果を考えてみよう

--

資料 ボディパーカッションについて

1 やり方

- ①胸を張って姿勢よく立ち、足を広げます。
- ②手は常に右・左・右・左というように、交互に動かします。
- ③マークはモデルを背面から見えています。
- ④用紙を見ながら、黒い部分を叩いてください。



★動画にてやり方を詳しく説明しています。見ながら真似てチャレンジしてください★

ボディパーカッションの楽譜

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯

→

自分オリジナルのボディパーカッションを作ってみよう！！

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯

→

【音楽】

〈内容〉

◆パイプオルガンの音色を味わいながら、「小フーガ ト短調」を鑑賞しよう。

（中学音楽2・3上 教科書 p26 - 29） ※1年生のみなさんは教科書がありませんが、なくても問題ありません。

○この学習課題は発展課題なので取り組めなくても大丈夫です。

パソコンなどで見たり聴いたりできる人で、チャレンジできる人はやってみましょう。

○本課題における動画では、札幌コンサートホール Kitara の協力のもと、Kitara のシンボリック的存在である大ホールのパイプオルガンの演奏を聴くことができます。

○ぜひ、この機会に、演奏を聴くとともに、課題に取り組んでみてください。

〈取り組み方〉

♪学習動画①「Kitara のパイプオルガンを聴いてみよう」♪



- 1 学習動画① の「Kitara のパイプオルガンを聴いてみよう」を視聴して、わかったことや感じたことなどを書いてみましょう。

♪学習動画②（『小フーガ ト短調』 J.S.バッハ 作曲）♪



- 2 学習動画② の『小フーガ ト短調』の演奏を視聴し、わかったことや感じたことなどを書いてみましょう。

〈学習のヒント〉 *1年生のみなさんは、来年度詳しく学習しましょう。

教科書2・3上 27 ページの「パイプオルガンについて」を参考に、楽器の構造や音の出る仕組みなどについて確認してみましょう。